令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　123

事務事業名称		職員健康管理事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　総務部		課：　職員課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	枚方市職員健康管理規程、枚方市安全衛生管理規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	職員の健康状態を的確に把握し、必要に応じて適切な助言指導を行い、職員の健康を保持・増進するとともに、各衛生委員会及び安全衛生委員会を中心に快適な職場環境を形成・促進することで、公務能率及び市民サービスの向上効果を生み出している状態。						
	対象者（受益者）	全職員						
	現状・課題	公務能率及び市民サービスの向上効果を生み出すため、職員の健康の保持・増進及び快適な職場環境の形成・促進を図る必要がある。						
	事業の概要	・法定健康診断については、定期健康診断、特殊健康診断を実施する。これらの健診の結果、必要に応じ健康管理医や保健師による保健指導や健康相談を実施する。その他、胃検診、乳がん検診（マンモグラフィ検診）、子宮がん検診、大腸がん検診（「全国健康保険協会（協会けんぽ）」に加入する職員本人を対象）、VDT眼科検診及び筋骨格系検査、頸肩腕検診を実施する。また、メンタルヘルス不調の一次予防強化の取組みとしてストレスチェックを実施する。 ・職場における安全衛生を確保するため、事業場ごとに設置している各衛生・安全衛生委員会を中心に、職場巡視やヒヤリハット事例の共有・防止など、快適な職場環境の形成・促進に取り組む。また、中央安全衛生会議を設置し、各事業場の取り組み状況を共有・調整を実施する。 ・職員一人ひとりのウェルビーイングの向上と、一層質の高い市民サービスの提供につなげることを目的に、職員の健康経営を推進する。その一環として、経済産業省の顕彰制度である「健康経営優良法人（大規模法人部門）」の認定取得を目指す。						
	年間の主な事務	・定期健康診断、特殊健康診断、各種がん検診、VDT、ストレスチェック等その他検診の実施 ・健康相談の実施 ・中央安全衛生会議、第1衛生委員会の開催 ・健康経営優良法人（大規模法人部門）の申請事務 ・健康経営に関するセミナー等						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	3.00人	3.00人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	23,064	24,627	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	23,064	24,627	—	—		
	物件費計	20,817	21,155	—	—	26,818	78.9%
歳出計		43,881	45,782	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		20,817	21,155	—	—	26,818	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 定期健康診断の実施率	%	97.9 %	97.6 %	— %	— %
② ストレスチェックの実施率	%	98.3 %	99.3 %	— %	— %
③ 中央安全衛生会議及び第1衛生委員会の開催回数	回	14 回	14 回	— 回	— 回
④ 健康管理医による健康相談の実施件数	件	55 件	63 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	—
指標	—

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	職員健康管理事務については、これまでから実施している法令の規定等に基づく健康診断やストレスチェック等に加え、職員の更なるワーク・ライフ・バランス推進の観点から、本市においても、職員の健康維持・増進とともに人材確保にも資する健康経営を一事業者として推進するため、全庁的な取り組みを進めており、今年度は公民連携プラットフォームを通して健康経営関連事業を民間事業者と連携しながら推進し、昨年度に引き続き、健康経営優良法人2025（大規模法人部門）の認定を取得した。
R7年度	定期健康診断の未受診者への受診勧奨を継続するとともに、重症化リスクのより高い職員の事後フォローに取り組み、また、健康経営セミナーの開催や健康への意識啓発に係る情報発信など、職員の健康維持・増進とともに人材確保にも資する健康経営の取組を進めた結果、令和7年度も引き続き、健康経営優良法人2026（大規模法人部門）の認定を取得した。 また、メンタルヘルス不調を未然に防ぐため、新規採用者への健康相談を継続し、ストレスチェックの結果から高ストレス者の医師面談や、集団分析結果から職場環境の改善につなげる取り組みを実施した。加えて、職員一人ひとりが心身の健康を維持し、いきいきと働くことができる職場づくりを推進し、メンタルヘルス対策の計画的かつ継続的な実施につなげるため、本市における現状や目指すべき方向、推進体制とともに、具体的な取り組み内容等を盛り込んだ「枚方市職員心の健康づくり指針」を策定し、職員への周知を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	引き続き、健康診断の受診勧奨、休暇の取得促進など、職員の健康維持、増進、メンタルヘルスに係る取り組みといった健康経営に関する各取り組みを推進するとともに、令和8年度においても健康経営優良法人の認定取得と更なる順位の向上を目指す。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　124

事務事業名称		職員福利厚生事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部		課:　職員課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1983(S58)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市職員の厚生制度に関する規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	会員の生活の向上を図り、公務能率及び市民サービスの向上効果を生み出している状態。						
	対象者(受益者)	枚方市職員共済会会員						
	現状・課題	会員の生活の向上を図り、あわせて公務能率を向上する必要がある。						
	事業の概要	枚方市職員共済会の活動概要は次のとおりである。 1. 会員制福利厚生事業 2. 文化体育事業 3. 給付事業						
	年間の主な事務	・定期総会や幹事会、常任幹事会の開催 ・会員の福利増進のための事業の企画・運営 ・福利厚生サービス事業の委託事務及び受託事業者との各種連絡・調整対応 ・各種給付金支給事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.50人	2.50人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	19,220	20,523	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	19,220	20,523	—	—		
歳出 物件費計	30,571	31,826	—	—	34,179	93.1%
歳出計	49,791	52,349	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	1,021	1,036	—	—	1,029	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	7,159	6,726	—	—	6,392	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	8,180	7,762	—	—	7,421	
一般財源(物件費充当分のみ)	22,391	24,064	—	—	26,758	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 文化体育事業の実施	回	10 回	13 回	— 回	— 回
② 給付事業の実施	件	3,515 件	3,760 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①						
説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標					—	
実績					—	
算出方法	—					

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①						
説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標					—	
実績					—	
算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	会員制福利厚生事業及び給付事業については例年同様の内容を基本として実施した。 文化体育事業については、参加者が限定される各種ツアーを廃止し、健康・趣味講座等、幅広い方の参加につながる事業の実施を、委託業者と連携し行った。
R7年度	会員制福利厚生事業及び給付事業については例年同様の内容を基本として実施した。 文化体育事業については昨年度に引き続き、健康・趣味講座等、幅広い方の参加につながる事業の実施を、委託業者と連携し行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	今後の福利厚生事業については、引き続き、さらに幅広い方の参加につながる事業の実施に向け、委託業者と連携・協議しながら進める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　756

事務事業名称		職員給与等管理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部		課:　職員課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　1948(S23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市報酬及び費用弁償に関する条例 枚方市職員給与条例 市長等の給与に関する条例						
	関係附属機関等	枚方市公務災害補償等認定委員会、枚方市公務災害補償等審査会、枚方市特別職報酬等審議会						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	職員の給与及び勤務時間等の勤務条件並びに公務災害等に関する事務の適正な執行を図り、もって公務能率の向上が実現されている状態。						
	対象者(受益者)	全職員						
	現状・課題	職員の給与及び勤務時間等の勤務条件並びに公務災害等に関する事務の適正な執行を図り、もって公務能率の向上を実現する必要がある。						
	事業の概要	特別職、非常勤職員及び臨時職員を含む全職員の報酬・給料及び賃金の支給、各種社会保険に関する事務、公務災害関係事務、休暇その他勤務条件に関する事務等の適正な執行に努める。						
	年間の主な事務	・月例給与、期末勤勉手当等の計算 ・職員に対する児童手当の計算、支給 ・社会保険に関する手続きの統括、及び保険料の計算、納付 ・年末調整事務 ・公務災害に関する事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	5.40人	5.40人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.40人	0.40人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	41,515	44,329	—	—		
		会計年度任用職員	1,613	1,750	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		43,128	46,079	—	—		
	物件費計		127,010	118,215	—	—	99,983	118.2%
歳出計			170,138	164,294	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		25,841	40,128	—	—	1,443	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			25,841	40,128	—	—	1,443	
一般財源(物件費充当分のみ)			101,169	78,087	—	—	98,540	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 月例給与、期末勤勉手当等の支給	回	14 回	14 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	報酬・給料及び各種手当の支給、各種社会保険に関する事務、公務災害関係、休暇その他勤務条件に関する事務等について、法令等の規定を踏まえ円滑に実施した。
R7年度	報酬・給料及び各種手当の支給、各種社会保険に関する事務、公務災害関係、休暇その他勤務条件に関する事務等について、法令等の規定を踏まえ円滑に実施した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	職員の給与や休暇などの勤務条件については、引き続き地公法の規定を踏まえながら適正な運用と効率的な事務執行に努める。 また、公務災害については、今後も安全・衛生委員会における周知・啓発等を通じ、発生の未然防止に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　757

事務事業名称		職員被服等貸与事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部	課:　職員課			区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1957(S32)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市職員被服等貸与規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	職員が従事する職務に応じて、適正な被服を貸与し、能率的な職務遂行が図れている状態。						
	対象者(受益者)	全職員						
	現状・課題	職員が職務に従事するにあたり、適正に作業着等の被服を貸与しなければ、安全かつ衛生的な作業環境を確保することができない。						
	事業の概要	枚方市職員被服等貸与規則に基づく種類の被服、着数をその貸与期間に応じて貸与する。						
	年間の主な事務	・枚方市職員被服等貸与規則に基づく被服の貸与事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.10人	0.10人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	769	821	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		769	821	—	—		
	物件費計		2,798	2,471	—	—	2,260	109.3%
歳出計			3,567	3,292	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			2,798	2,471	—	—	2,260	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 被服の貸与	着	500 着	424 着	— 着	— 着

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—					
指標	—					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—					
指標	—					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	作業服については、数量の把握や貸与を適正に実施した。
R7年度	作業服については、数量の把握や貸与を適正に実施した。また、職員の熱中症対策のひとつとして、第1衛生委員会において、空調服の導入の検討を行い、令和8年度より導入することを決定した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	作業服の仕様、貸与や着用の基準の適正性を確認・検証しながら、引き続き効率的・効果的に実施する。また、空調服については、夏季の必要な時期に導入できるよう、適切に手続きを進める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　853

事務事業名称		職員課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部		課:　職員課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。						
	対象者(受益者)	課職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る。						
	事業の概要	職員課運営事務) ①市議会、職員団体等に対する調整及び交渉等 ②行政評価及び事業計画等に関する事務 ③庁内外への照会・回答処理事務 (職員課庶務事務) ①職員課の予算及び決算に関する事務 ②職員課職員の給与、休暇、服務等に関する事務 ③消耗品等の物品の契約及び整理、保管に関する事務						
	年間の主な事務	(職員課運営事務) ①市議会、職員団体等に対する調整及び交渉等 ②行政評価及び事業計画等に関する事務 ③庁内外への照会・回答処理事務 (職員課庶務事務) ①職員課の予算及び決算に関する事務 ②職員課職員の給与、休暇、服務等に関する事務 ③消耗品等の物品の契約及び整理、保管に関する事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.00人	1.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.40人	0.40人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,688	8,209	—	—		
		会計年度任用職員	1,613	1,750	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		9,301	9,959	—	—		
	物件費計		1,132	1,232	—	—	1,086	113.4%
歳出計			10,433	11,191	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,132	1,232	—	—	1,086	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	職員課運営事務及び庶務事務双方について、適正かつ円滑に遂行した。
R7年度	職員課運営事務及び庶務事務双方について、適正かつ円滑に遂行した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	今後も引き続き、職員課運営事務等について、正確かつ迅速に行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―